



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 ヤマト・インダストリー株式会社
 コード番号 7886 URL <http://www.yamato-in.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉浦 大助

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部統括 (氏名) 茂木 久男

TEL 03-3834-3111

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,455	△3.4	△53	—	△51	—	△54	—
30年3月期第1四半期	3,578	1.7	53	△50.6	51	△32.3	27	△48.2

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 △174百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 △49百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△5.46	—
30年3月期第1四半期	2.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	8,442	2,170	25.7	216.03
30年3月期	8,475	2,345	27.7	233.41

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 2,169百万円 30年3月期 2,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成31年3月期期末配当予想については、未定です。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	△0.8	△10	—	△40	—	△55	—	△5.47
通期	17,000	16.0	110	—	50	—	15	—	1.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	10,171,797 株	30年3月期	10,171,797 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	123,697 株	30年3月期	123,697 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	10,048,100 株	30年3月期1Q	10,048,100 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善、設備投資の増加などから景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。海外経済につきましては、中国・アジア新興国等の経済動向や地政学的リスクの影響、米国の貿易政策による貿易摩擦の懸念等もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、前向きな投資戦略、新規事業への挑戦、国内外の体制を再整備し、合理化の実行による業績向上をめざしてまいりました。

その結果、国内の売上は、堅調に推移しましたが、海外子会社の売上が減少したことにより、売上高は、34億55百万円（前年同四半期35億78百万円）と減収となり、利益面では、営業損失53百万円（前年同四半期利益53百万円）、経常損失51百万円（前年同四半期利益51百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失54百万円（前年同四半期利益27百万円）と減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

（合成樹脂成形関連事業）

国内の売上は、堅調に推移しましたが、海外子会社の売上が減少したことにより、売上高は、30億11百万円（前年同四半期32億29百万円）と減収となりました。利益面では、営業損失54百万円（前年同四半期利益55百万円）と減益となりました。

（物流機器関連事業）

競合他社との価格競争が続く中、受注拡大に努め積極的な営業活動を展開してまいりました、その結果売上高は、4億43百万円（前年同四半期3億48百万円）、営業利益1百万円（前年同四半期損失1百万円）と増収、増益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産の状況）

資産合計は84億42百万円となり、前連結会計年度末と比べ33百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億89百万円減少、流動資産のその他が2億68百万円増加したことによるものです。

（負債の状況）

負債合計は62億71百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億40百万円増加しました。これは主に、短期借入金が2億98百万円増加、長期借入金が1億26百万円減少したことによるものです。

（純資産の状況）

純資産合計は21億70百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億74百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少54百万円、為替換算調整勘定の減少1億18百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日に公表しました連結予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,609,009	1,537,561
受取手形及び売掛金	2,605,080	2,315,616
電子記録債権	435,237	530,370
商品及び製品	477,570	565,039
仕掛品	173,228	145,609
原材料及び貯蔵品	339,350	322,176
その他	112,299	380,918
流動資産合計	5,751,776	5,797,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	389,218	376,858
機械装置及び運搬具(純額)	627,671	571,574
土地	1,107,584	1,107,584
リース資産(純額)	129,983	133,461
その他(純額)	92,407	89,910
有形固定資産合計	2,346,865	2,279,390
無形固定資産		
のれん	110,416	101,214
その他	22,342	24,411
無形固定資産合計	132,759	125,626
投資その他の資産		
投資有価証券	51,944	51,021
その他	195,448	191,755
貸倒引当金	△2,830	△2,830
投資その他の資産合計	244,562	239,947
固定資産合計	2,724,187	2,644,963
資産合計	8,475,963	8,442,257
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,458,843	2,334,461
電子記録債務	-	93,083
短期借入金	1,151,253	1,449,743
未払法人税等	16,732	8,162
賞与引当金	26,007	36,403
その他	407,808	384,289
流動負債合計	4,060,644	4,306,144
固定負債		
長期借入金	1,746,599	1,620,041
退職給付に係る負債	158,500	169,494
その他	164,875	175,895
固定負債合計	2,069,974	1,965,431
負債合計	6,130,619	6,271,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	927,623	927,623
資本剰余金	763,504	763,504
利益剰余金	487,364	432,526
自己株式	△23,002	△23,002
株主資本合計	2,155,490	2,100,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,884	2,076
繰延ヘッジ損益	△218	1,574
為替換算調整勘定	177,457	58,806
退職給付に係る調整累計額	8,685	6,752
その他の包括利益累計額合計	188,809	69,210
非支配株主持分	1,044	818
純資産合計	2,345,344	2,170,681
負債純資産合計	8,475,963	8,442,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,578,239	3,455,159
売上原価	3,026,947	3,034,291
売上総利益	551,292	420,867
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	92,335	96,001
給料及び賞与	165,379	153,242
退職給付費用	10,172	16,819
その他	229,899	208,637
販売費及び一般管理費合計	497,787	474,700
営業利益又は営業損失(△)	53,504	△53,833
営業外収益		
受取利息	1,328	1,324
受取配当金	166	111
為替差益	-	12,021
受取手数料	1,235	1,160
受取賃貸料	15	15
受取設備負担金	6,950	-
その他	4,616	2,069
営業外収益合計	14,312	16,702
営業外費用		
支払利息	12,168	12,461
為替差損	2,235	-
その他	1,698	1,605
営業外費用合計	16,102	14,066
経常利益又は経常損失(△)	51,714	△51,196
特別利益		
固定資産売却益	592	-
特別利益合計	592	-
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	52,307	△51,196
法人税等	19,789	3,608
四半期純利益又は四半期純損失(△)	32,517	△54,805
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,681	32
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	27,835	△54,838

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	32,517	△54,805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	705	△808
繰延ヘッジ損益	1,232	1,793
為替換算調整勘定	△85,873	△118,757
退職給付に係る調整額	2,056	△1,932
その他の包括利益合計	△81,877	△119,705
四半期包括利益	△49,360	△174,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,767	△174,436
非支配株主に係る四半期包括利益	407	△73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,229,716	348,523	3,578,239	—	3,578,239
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,860	—	9,860	△ 9,860	—
計	3,239,576	348,523	3,588,100	△ 9,860	3,578,239
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	55,006	△ 1,501	53,504	—	53,504

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,011,744	443,415	3,455,159	—	3,455,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,181	13	38,194	△ 38,194	—
計	3,049,925	443,428	3,493,354	△ 38,194	3,455,159
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△ 54,835	1,002	△ 53,833	—	△ 53,833

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。